



地域コミュニティーの活性化と
災害時の炊き出し可能な公園キッチンの提案

平成 27 年 4 月 特定非営利活動法人 HOTNET キッチン

< 目次 >

| | | |
|-----|--|----|
| 1. | はじめに..... | 3 |
| 2. | 災害時公園利用実態調査 | |
| 2-1 | 阪神・淡路大震災 災害時における公園利用実態..... | 4 |
| | 参考資料 1: H7_II 第6次都市公園等整備5箇年計画におけるプロジェクトに関する検討 (震災関連アンケート).pdf | |
| 2-2 | 阪神・淡路大震災 避難地としての公園の役割..... | 5 |
| | 参考資料 2: H6_第1部 阪神・淡路大震災にかかる都市公園緊急利用実態調査.pdf | |
| 2-3 | 東日本大震災 避難地としての公園の役割..... | 6 |
| | 参考資料 3: 東日本大震災実態調査速報.pdf | |
| 2-4 | 東日本大震災 ボランティア活動報告..... | 7 |
| 2-5 | HOTNET キッチン考察 | 8 |
| 3. | 東京都防災公園調査 | |
| 3-1 | 都立公園の防災設備調査..... | 9 |
| | 参考資料 4: 都立公園の防災設備調査.pdf | |
| 3-2 | 主な防災設備の紹介..... | 11 |
| 4. | 「公園キッチン」の平時の取り組み | |
| 4-1 | 防災公園を利用した「公園キッチン」の考え方..... | 13 |
| 4-2 | かまどのある公園 築地川公園..... | 15 |
| 4-3 | イベントメニュープラン..... | 16 |
| 4-4 | 運用面での注意事項..... | 19 |
| 5. | 理想的な「公園キッチン」 | |
| 5-1 | 移動型キッチン「ヘキサゴンキッチン」の有用性..... | 20 |
| 5-2 | HOTNET キッチンの考える理想的な「公園キッチン」設備..... | 22 |
| 6. | まとめ..... | 22 |

1. はじめに

豊かなはずの現代社会において、核家族化と地域コミュニティの希薄化から、子供の孤食や個食化（※1）、ネグレクト（※2）、また独居高齢者の増加による孤食、餓死、その背景にある育児や介護の孤立などが社会問題となっています。

「HOTNET キッチン」では、孤立化が進む家族や地域コミュニティにおいて、コミュニケーションをより深める場として、生活に必須の「食」とそれを作り出す「キッチン」を軸に、作る、食べるという共同作業からコミュニケーションを育む場を提供してきました。

また、地域コミュニティを深める場として屋内だけにとどまらず、地域住民が集まりやすい調理設備の整った公園で行う「公園キッチン」を提案することで、野外での火のおこし方、調理方法、片づけなど、日常から離れた体験を共有することにより「美味しい」で結ばれる、より深いコミュニケーションを作ることに成功してきました。

この度提案させていただく「公園」を利用した「公園キッチン」では、東日本大震災のボランティア活動で目の当たりにした公園利用の実体験と資料、東京都内に点在する防災公園に関する調査研究から、日頃の「公園キッチン」のノウハウを活かして、災害時にも役立つ知識を「食」から学べる場として活動できればと思っております。

この提案により、いつ来てもおかしくない災害時に活用できるスキルを持った地域コミュニティを育成できれば幸いです。

NPO「HOTNET キッチン」参加メンバー

| | |
|----------------|---------------|
| 石田美弥子（東京都杉並区） | 黒田秀雄（東京都調布市） |
| 小早川克（東京都渋谷区） | 末延豊子（東京都中野区） |
| 中尾正文（東京都江東区） | 藤田崇子（東京都八王子市） |
| 松島光明（東京都あきる野市） | 村野繁（東京都杉並区） |
| 秋山洋子（東京都板橋区） | 檜垣道子（東京都江戸川区） |

※本提案は公益社団法人インテリア産業協会の研究助成金を受けて制作いたしました。

※1 一人で食事をする、家族が別々のものを食べること ※2 育児放棄、子供に食事を与えない

2. 災害時公園利用実態調査

インターネット等を使って公共団体が調査・検討した情報をもとに阪神・淡路大震災、東日本大震災時の防災公園の活用実態を調査しました。以下はその情報の一部を転載し、合わせてHOTNET キッチンの考察、有用性を記述します。

2-1 阪神・淡路大震災 災害時におけるの公園利用実態

ここでは阪神・淡路大震災時において、地震被害の著しかった地域の市民を対象に震災時の避難動向の概略のアンケート調査と、震災時のより具体的な避難行動を把握した調査をご紹介します。

出典：一般社団法人日本公園緑地協会「H7_II 第6次都市公園等整備5箇年計画におけるプロジェクトに関する検討」(震災関連アンケート) http://www.posa.or.jp/outline/chousa/pdf/H07_2.pdf より抜粋(参考資料1)

1) 対象

近隣住民〔全体回収数(2664→回収率 44.4%)〕:

東灘区(855)、灘区(407)、中央区(105)、兵庫区(169)、長田区(228)、須磨区(173)、西宮市(405)、芦屋市(322)〕

2) 公園への避難者

仮設住宅入居までの避難行動で区分すると「一時避難者」「避難生活者」の2型に分けられる。被災当日の公園への一時避難者は20.3%。

「避難生活者」の公園利用の割合は右の図のようになる。公園以外の避難者の中には「近くに公園がない」という指摘がみられた。

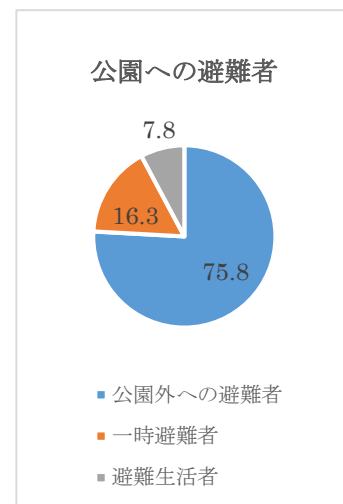
3) 「一時避難者」が公園を選択した理由

第1要因「自宅との近接性」第2要因「建物が無い」

「公園に行けば誰かがいると思った」と多くの避難者が述べている。

4) 「避難生活者」が公園を選択した理由

第1要因「自宅との近接性」、その他「私的生活の確保」「一時避難者」に比べて震災以前の公園の利用率が高く、「一時避難者」においても日常的利用者は公園の選択理由が明解で、公園の認知度が高い傾向がみられる。これらは震災以前の公園利用と避難理由選択の相関を示唆しているといえる。



2-2 阪神・淡路大震災 避難地としての公園の役割

出典：一般社団法人日本公園緑地協会「H6 第1部 阪神・淡路大震災にかかる都市公園緊急利用実態調査」

http://www.posa.or.jp/outline/chousa/pdf/H06_1.pdf より抜粋 (参考資料2)

1) 対象

神戸市規制市街地6区(六甲山より南) 389公園、芦屋市 51公園、西宮市 25公園
合計 494公園

2) 利用実態

・被災1日後

右のグラフのように105公園が避難所として使用された。

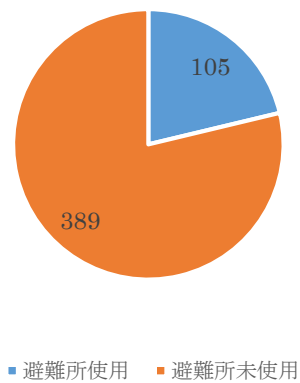
・被災1週間後

26%にあたる94公園が避難場所となり1098張りのテントがあった。この時点で公園から学校等に移動した避難後公園は23ヶ所。

・被災3週後

一部の公園では避難利用はみられなくなったものの、テント数は増加。公園での避難生活は長期継続の様相を呈する。

避難所として使用された公園(被災1日後)



3) 公園の役割

・救援活動として

避難テント、物資の保管・配給、救護本部、情報センター、仮設トイレ、給水所、救急車両、救急医療、ヘリポート

・復旧、復興拠点として

自衛隊駐屯地、復旧資材置き場、仮設住宅建設、瓦礫や生活ゴミ集積所、自動車等置き場

・火災の焼け止まり

2-3 東日本大震災 避難地としての公園の役割

出典：一般社団法人日本公園緑地協会「東日本大震災実態調査速報」

<http://www.posa.or.jp/outline/pdf/20110512001.pdf> より抜粋（参考資料3）

1) 対象

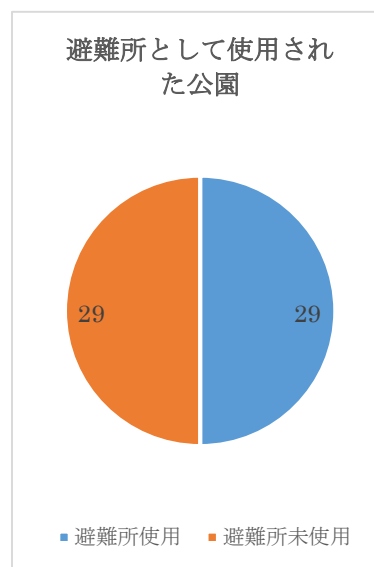
現地踏査：仙台市 58 公園

2) 利用実態

半数が震災に関する利用があった。

3) 公園の役割

- ・救援活動として
給水所、炊き出し、ボランティアセンター設置
- ・復旧、復興拠点として
瓦礫や生活ゴミ仮置き場、被災車両保管、
自衛隊の重機置き場、自衛隊支援拠点、
支援車軸駐車場、



2-4 東日本大震災 ボランティア活動報告

ここでは東日本大震災時において「公園キッチン」のノウハウを活用した炊き出しの報告いたします。極めて少ないキッチン用具の中で、事前の下ごしらえのメンバー確保、燃料（プロパンガス）の確保、調理用具（鍋、コンロ、炊飯器はレンタル）、メニューや分量の目算など、400名分の炊き出しは「公園キッチン」を年2回、20年以上継続してきたことのたまものでした。

日付 : 2011年3月26日、27日（震災後2週間）
場所 : 宮城県本吉郡三陸町志津川 志津川高校避難所
参加人数 : 16名
人数分 : 400名
メニュー : おにぎり、豚汁、お新香

炊き出し時の様子



2-5 HOTNET キッチン考察

公園利用の実態調査、東日本大震災ボランティア実体験から、公園の認知度に比例して避難場所としての利用が高まることがわかった。日頃から公園の日常的な利用が災害時の避難行動につながる事、

立地環境が違うものの、広大な緑地とオープンスペースは救援活動としても復旧、復興拠点としても公園は利用すべき施設であることもわかりました。

人の集まる救援活動において、炊き出しは必須であり、特に給水所利用の中、同時に炊き出しをすることは効率的な配置とも考えられます。

また、東日本大震災のボランティア活動報告を通して、疲れた体に温かい食事がいかに人の心を癒すかということも実感しました。

まずは、日頃身近に公園を感じてもらうこと、炊き出しの経験が一度でもあれば率先した活動ができ、防災公園の設備を理解することで救助を待つだけでなく率先した救援活動が進むものと考えます。

3. 東京都防災公園調査

東京都に点在する防災公園の主な設備をご紹介すると共に、HOTNET キッチンが調査した東京都内 40 ヶ所の必要最小限の防災設備をリストにしました。具体的に調査資料は別紙に添付いたします。

3-1 都立公園の防災設備調査

ほとんどの公園がバーベキュー設備を有しており、逆に簡易コンロや揚水ポンプなどの防災に直結する設備が少ない。公園キッチンを提案するにあたって、バーベキュー設備を最大限に利用したしくみを提案いたします。

[HOTNET キッチン調査研究資料：都立公園の防災設備調査（参考資料4）](#)

★印＝現地調査済み公園

| NO. | 公園名 | バーベキュー 一広場 | かまど | 揚水 ポンプ | 区市 町村 | 住 所 | ★ |
|------|------------|---------------|-----|-----------|-------|--------------|---|
| 1-01 | 光が丘公園 | 有 | 有 | 有 | 練馬区 | 光が丘 4-1-1 | ★ |
| 1-02 | 和田堀公園 | 有 | 無 | 有 | 杉並区 | 成田西 1-30-27 | ★ |
| 1-03 | 篠崎公園 | 有 | 無 | 有 | 江戸川区 | 篠崎町 8-5 | ★ |
| 1-04 | 木場公園 | 有 | 有 | 有 | 江東区 | 平野 4-6 | ★ |
| 1-05 | 水元公園 | 有 | 無 | 有 | 葛飾区 | 水元公園 3-2 | ★ |
| 1-06 | 舎人公園 | 有 | 有 | 有 | 足立区 | 舎人公園 1 | ★ |
| 2-01 | 荒川岩淵関緑地公園 | 有 | 有 | 無 | 荒川区 | 岩淵町 23-45 | ★ |
| 2-02 | 赤羽自然観察公園 | 有 | 有 | 有 | 北区 | 赤羽西 5-2-34 | ★ |
| 2-03 | 赤塚公園 | 有 | 無 | 無 | 板橋区 | 高島平 3-1 | ★ |
| 2-04 | 野川公園 | 有 | 有 | 無 | 三鷹市 | 大沢 6-3 | ★ |
| 2-05 | 富士見台公園 | 有 | 無 | 無 | 八王子市 | 柚木 905-3 | ★ |
| 2-06 | 小山内裏公園 | 有 | 有 | 無 | 町田市 | 小山ヶ丘 4-4 | ★ |
| 2-07 | 昭和記念公園 | 有 | 無 | 防災井戸 | 立川市 | 緑町 3173 | ★ |
| 2-08 | 多摩川緑地福生南公園 | 有 | 有 | 無 | 福生市 | 南田園 1-1-1 | ★ |
| 2-09 | 多摩川中央公園 | 有 | 有 | 無 | 福生市 | 北田園 1 | ★ |
| 2-10 | 秋留台公園 | 有 | 無 | 無 | あきる野市 | 二宮 673-1 | ★ |
| 2-11 | 花木園 | 有 | 有 | 無 | 青梅市 | 小曾木 4-2615-1 | ★ |
| 2-12 | 釜の淵公園 | 有 | 無 | 無 | 青梅市 | 大柳町 1392 | ★ |
| 2-13 | 平和の森公園 | 無 | 無 | 防災井戸 | 中野区 | 新井 3-37-6 | ★ |

| | | | | | | | |
|------|------------------|---|---|------|------|------------|---|
| 2-14 | 桃井原っぱ公園 | 有 | 無 | 無 | 杉並区 | 桃井3-8-1 | ★ |
| 2-15 | 新宿中央公園 | 有 | 無 | 無 | 新宿区 | 西新宿2-11-1 | ★ |
| 2-16 | 若林公園 | 無 | 有 | 防災井戸 | 世田谷区 | 若林4丁目34番2号 | ★ |
| 23 | 武蔵野中央公園 | 有 | 無 | 無 | 武蔵野市 | 八幡町2-4-22 | |
| 24 | 武蔵野公園 | 有 | 無 | 無 | 府中市 | 多磨町2-24-1 | |
| 25 | 府中郷土の森公園 | 有 | 無 | 無 | 府中市 | 矢崎町5-5 | |
| 26 | 大泉さくら運動公園 | 有 | 無 | 無 | 練馬区 | 大泉学園9-4-5 | |
| 27 | 西東京いこいの森公園 | 有 | 無 | 防災井戸 | 西東京市 | 緑町3-2-5 | |
| 28 | 清瀬金山緑地公園 | 有 | 無 | 無 | 清瀬市 | 中里4-649-1外 | |
| 29 | しながわ区民公園 | 有 | 有 | 無 | 品川区 | 勝島3-2-2 | |
| 30 | 大島小松川公園 | 有 | 無 | 無 | 江東区 | 小松川1-7 | |
| 31 | 三峰公園 | 有 | 有 | 無 | 世田谷区 | 砧四丁目6番14号 | |
| 32 | 江戸川区総合レクリエーション公園 | 有 | 無 | 無 | 江戸川区 | 西葛西6-11 | |
| 33 | みやした公園 | 有 | 無 | 無 | 渋谷区 | 神宮前6-20-10 | |
| 34 | 汐入公園 | 有 | 無 | 防災井戸 | 荒川区 | 南千住8-13-1 | |
| 35 | 城南島海浜公園 | 有 | 有 | 無 | 大田区 | 城南島4-2 | |
| 36 | 若葉台公園 | 有 | 無 | 無 | 稲城市 | 若葉台1-19-1 | |
| 37 | 築地川公園 | 有 | 有 | 無 | 中央区 | 明石町10-2 | |
| 38 | 善福寺川緑地 | 有 | 無 | 有 | 杉並区 | 成田西1-30-27 | |
| 39 | 小金井公園 | 有 | 無 | 有 | 小金井市 | 関野町1-13-11 | |
| 40 | 駒場野公園 | 有 | 有 | 無 | 目黒区 | 駒場2-19-70 | |

3-2 主な防災設備の紹介

●バーベキュー広場

事前申し込みによって使用可能。調理器具、材料は利用者が用意する。

携帯用カセット、ボンベが利用できる（直火不可）であり、簡易の水場がある。

火気を必須とする公園キッチンにおいて、バーベキュー広場を探すことから始める。



●かまど（かまどベンチ）

普段はベンチとして利用されているが、災害時に座る部分はずすと「かまど」になる。

火を起こし、炊き出し等が可能。公園キッチン運営において重要な設備となる。



●揚水ポンプ

水道などのインフラがストップした時にできる、手動で組み上げる水道ポンプ。他に防火水槽、応急給水槽などもある。災害時に活躍する設備であるが、平時の公園キッチンにおいては使用方法の紹介にとどめる。



●その他、災害時にあると有用な設備

・災害対応トイレ

給水や電気などのインフラが寸断された場合でも利用できる「マンホールトイレ」マンホールの蓋を外して便器を取り付けて、テントを張って使用できる。他、通常はスツールになっており蓋を外して利用するタイプがある。平時は使用方法の紹介にとどめる。



・ソーラー発電の電気灯

停電時でもソーラー発電により照明を灯すことができる。



・災害対応バルク貯槽

炭や薪を燃やすかまどを常備すると共に、LP ガス貯槽ユニットの普段併用することで非常時に活躍します。



・備蓄庫

食料だけでなく、燃料、調理器具、調理台や食卓など普段も利用しながら、災害時にも利用できる倉庫があれば、災害時の炊き出しの運用に有用です。



4. 「公園キッチン」の平時の取り組み

「食」を通じて楽しく災害時に役立つスキルを身につける事ができる「公園キッチン」を提案します。また、定期的を開催することにより災害時に公助に頼りすぎない地域コミュニティを自然発生的に作り出す事が可能となります。

4-1 防災公園を利用した「公園キッチン」の考え方

「公園キッチン」では下記の3つの理念をかかげて運営します。

災害時の料理を
習得しよう

防災設備を理解する人
を育てよう

仲間を作ろう

災害時に役立つ地域コミュニティを作ろう

3つの理念を実行するために下記に留意してイベントを開催します。

【災害時の料理を習得しよう】

- ・災害時、平時でも実践できる料理を提案
- ・災害時に役立つ具体的な食に関する知識を伝える
- ・食中毒予防となる運用面での注意事項

【防災設備を理解する人を育てよう】

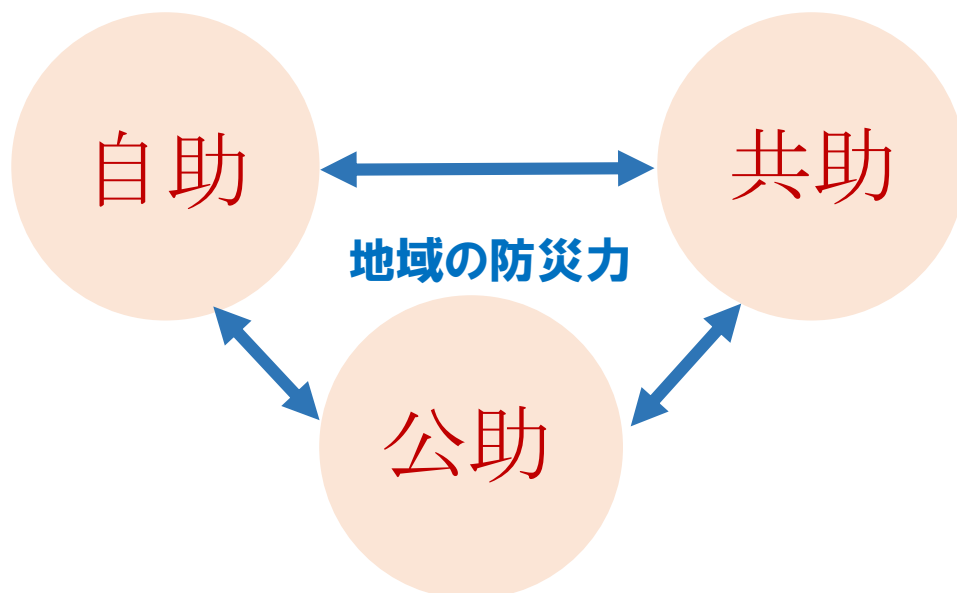
- ・火のおこしかた等、アウトドアでのスキルを育てる
- ・防災設備を理解してもらい、実際に使う
- ・避難場所としての公園を認識してもらう

【仲間を作ろう】

- ・食を通して、コミュニティを作る
- ・仲間から仲間へ、イベントに参加する人を増やす
- ・イベント時以外でも連絡を取り合える、情報伝達・収集のできる仲間を作る

内閣府発行の「地域防災リーダー入門」で掲げる災害時の3つの「助け」の内、「公園キッチン」の活動で得たスキルで「自助」「共助」を進んでできるようになります。公的機関に頼りすぎない人材の育成が可能となります。

この3つがバランスよく活動できることにより、災害時でもスムーズな活動が可能になります。



自助 <自分の身は自分で守る>

身の安全、最低限の食料の備え、家族の連絡等自ら対応。「公園キッチン」で得た料理や知識が役立ちます。

共助 <近隣住民が互いに助け合う>

負傷者の救出、火災等2次災害の対応防寒、食料、衣類の確保、トイレ、病気、情報共有
地域コミュニティの育成によりスムーズな情報交換、意思の疎通が可能に。

公助 <国・都道府県・市町村等の公的機関による対応>

避難所、温かい食事、ライフラインの復活

4-2 かまどのある公園 築地川公園

防災公園が23区の中で充実している中央区は、順次改装の際にベンチ型かまどとソーラー照明を設置していく予定とのこと。中央区には、中央区の住人・在勤者が無料でレンタルできるかまど付き公園が「築地川公園デイキャンプ場」「浜町公園デイキャンプ場」「豊海運動公園デイキャンプ場」と3つあります。

その中でバーベキュー場とかまどベンチを有しており、駅からの近く、どの地区かもアクセスのよい「築地川公園」でのイベント開催を提案しております。

【築地川公園】

| | |
|--------|--|
| 場所 | : 東京都中央区明石町10番2号 |
| 参加可能人数 | : 30名 |
| 利用状況 | : 10:00~18:00の利用厳守 土日祝日に予約集中(要事前申し込み) 3か月前の8:00~受付開始 |
| 設備 | : かまどベンチ3ヶ所 流し3ヶ所 ベンチスタイルのイス・テーブル3セット 鉄板・鉄網・バケツ |
| 持参品 | : 調理器具、材料、鍋、食器理類持参 |
| 備考 | : イベントに関する感想、要望を得るため最後にアンケート用紙を配布 |

築地川公園の様子



4-3 イベントメニュープラン

「食」を通して定期的に開催するイベントでは、災害時に活用できるスキルを習得する事を目的として構成しております。平時でも実践できるレシピを合わせて紹介することで自宅でも意識して災害時に備えることができます。

【イベント時】 参加型レシピ

参加型のメニューを取り入れる事に注力してメニューを考案いたしました。実際には役割分担をし、手際よく調理をする必要性が求められるので継続的に繰り返すことでアウトドアのスキルを体験でき、災害時に役立つ料理や、コミュニケーションが取りやすい料理を習得できます。

習得できるスキル

- ・かまどベンチの使い方
- ・火おこし／火力調整
- ・災害時に役立つ料理

災害時に役立つレシピ

持ち寄り野菜で無駄なく調理できる「重ね煮」を推奨しています。他、役割分担をして作るメイン料理以外に個々で作れる料理を取り入れることで、参加者が輪に入りやすい仕組み作りを心がけています。



重ね煮とは？

料理のベースとなる素材作り。

どんな料理に流用もできます。食材を図のように積み重ねて、ごく少量の水と塩で煮ます。

一度作っておけば1週間まで保存でき、また、持ち寄り野菜で作ることができ、皮を剥かずに調理するので食材を丸ごと頂ける捨てる部分が少ない無駄のないレシピです。



また、食べることにより、災害時に疲れた体に有効な効果も得られます。



具体的なメニュー案

<みんなでアウトドアキッチン☆築地のうまさを串刺し!!>

1. みんなの持ち寄り野菜で作る「野菜の重ね蒸し」を使ったアレンジ鍋
2. 海鮮串のチーズフォンデュ
3. 生春巻き（サーモンとクリームチーズを予定）
4. メバルのアクアパッツァ
5. ローストポーク
6. 飯ごうで炊く！白ごはん

<みんなでアウトドアキッチン☆「秋の味覚」をみんなで作ろう!>

1. みんなの持ち寄り野菜で作る「秋野菜の重ね煮」を使ったアレンジ鍋
2. 色々肉のシンプルバーベキュー♪
3. 誰でも簡単にできる！みんな de 生春巻き☆
4. 炭火 de さんま焼き！！
5. 料理長に教わる♪秋の茶碗蒸し♪
6. きんぴらごはんの釜炊き！！

イベント時の様子



【平時】 保存食レシピ、非加熱・加熱を制限したレシピ

日々の生活の中でも災害時を意識する日を作りメニューバリエーションを増やす。加熱を制限したレシピは突発的な来客時用にアレンジメニューなどを考えることも有効である。

平時・災害時に役立つレシピ

災害直後から3日間

ライフラインが途絶え何も届かない可能性が高いので、まずは保存食を見つけ、そのまま食べることを想定します。

<メニューモデル>

乾パン・ビスケット類・缶詰類（サバの味噌煮・焼き鶏缶詰・フリーズドライ食品・アルファ米・サラミソーセージ・カロリーメイト・チョコレート・塩・はちみつ・キャンディ

3日から1週間程度

水の確保・避難所への移動を取り始める時期なので、炊き出しの際に有効な「重ね煮」をベースにした汁ものが有効です。東日本大震災の際には寒さの厳しい頃であり、生姜を入れたことで体を温める効果や味に変化をつけることができた。

<メニューモデル>

重ね煮を軸に豚汁・けんちん汁を始めとした汁物全般からカレー・シチュー類他、ハヤシライス・中華丼などに応用。

1週間～1ヶ月

避難生活が長期に渡ってきたことで、それぞれが自分の体調や好みに合わせた味の変化を求める傾向がでてくる。その為、より日常に近い料理が求められる。但し、炊き出しの際には大量調理となるため、設備が整えば、模擬店的なメニューが有効です。

<メニューモデル>

やきそば・お好み焼き・アメリカンドッグ・じゃがバター・唐揚げ・おやき・どら焼き・チョコバナナ。豆板醤・ケチャップ・カレー粉・七味等の調味料で変化をもたらす。

1ヶ月以降

避難所でも出された食料をアレンジして、日常に近い料理を自分たちで考える必要性が出てくる。缶詰や常温保存品や乾物を利用し、加熱するなどの調理を加えたメニューモデルが必要である。また子供の栄養確保のため保存がしやすい豆類の摂取を推奨します。

<メニューモデル>

豆のトマト煮込・鯖のカレー炒め・切り干し大根とベーコンのお浸し・ツナパスタ・じゃがいもとコーンビーフ炒め・ミートソースを使ったキーマカレーへのアレンジなど。

4-4 運用面での注意事項

災害時、イベント時には食物を安全に食べるために食中毒に十分に気を付けることが必要となります。最小限の道具で衛生面を優先した調理方法や、道具の使い方を実践し、習得できるように運営いたします。また、節約の知恵にも繋がるアイデアは日々の料理でも使えるスキルです。

災害時に役立つ道具と使い方

- ポリ袋
 - ・手袋代わりにして直接食材に触らない。
 - ・ボウル代わりに。
 - ・汁物類を入れて運ぶ、小分け用に。
 - ・ポリバケツにかぶせれば清潔に水が使える。
 - ・段ボールと組み合わせ水を運ぶ。

- ラップ
 - ・おにぎりなどを包むことで小分けにすることが可能。
 - ・お皿やしゃもじなどにも張ることで洗いものを減らすことができる。

- アルミホイル
 - ・落し蓋にすることで省エネ+洗い物削減。
 - ・器に巻いて洗い物を減らすことができる。

- クッキングペーパー(オーブンシート)
 - ・フライパンに敷いて油なし・焦げしらずで使える。

- ウェットティッシュ・除菌スプレー
 - ・手やテーブルを拭いて清潔に保つ。

- キッチンペーパー
 - ・手を洗ったらペーパーで拭く。
 - ・ふきん、タオルの代わりとして使用する。

- ペットボトル
 - ・水を運ぶための容器として。
 - ・1Lサイズの上部を切り取ってひっくり返してじょうご代わりに使用。

5. 理想的な「公園キッチン」

料理でコミュニケーションを図る事ができるが、作る過程でも更にコミュニケーションを育む理想的な形、設備を提案いたします。

5-1 移動型キッチン「ヘキサゴンキッチン」の有用性

災害時において、「食」を生み出すキッチンの有用性は欠かせない要素のひとつ。単にあたたかいものを提供できるだけでなく、炊事、調理、食事と一連の作業をひとつのキッチン囲めば自然とコミュニティが生まれます。

六角形（HEXAGON=ヘキサゴン）の形は調理台とテーブルを同じ場所で出来るように考え、食卓を囲んでコミュニケーションが取れるデザインです。

また、参加人数に合わせて連結することで、何名でも同じキッチンを囲む事ができます。設備のない公園に対し、ヘキサゴンキッチンを公園に設置すれば、また、中長期的な避難生活にも公園キッチンの活用が可能です。

<ヘキサゴンキッチン>

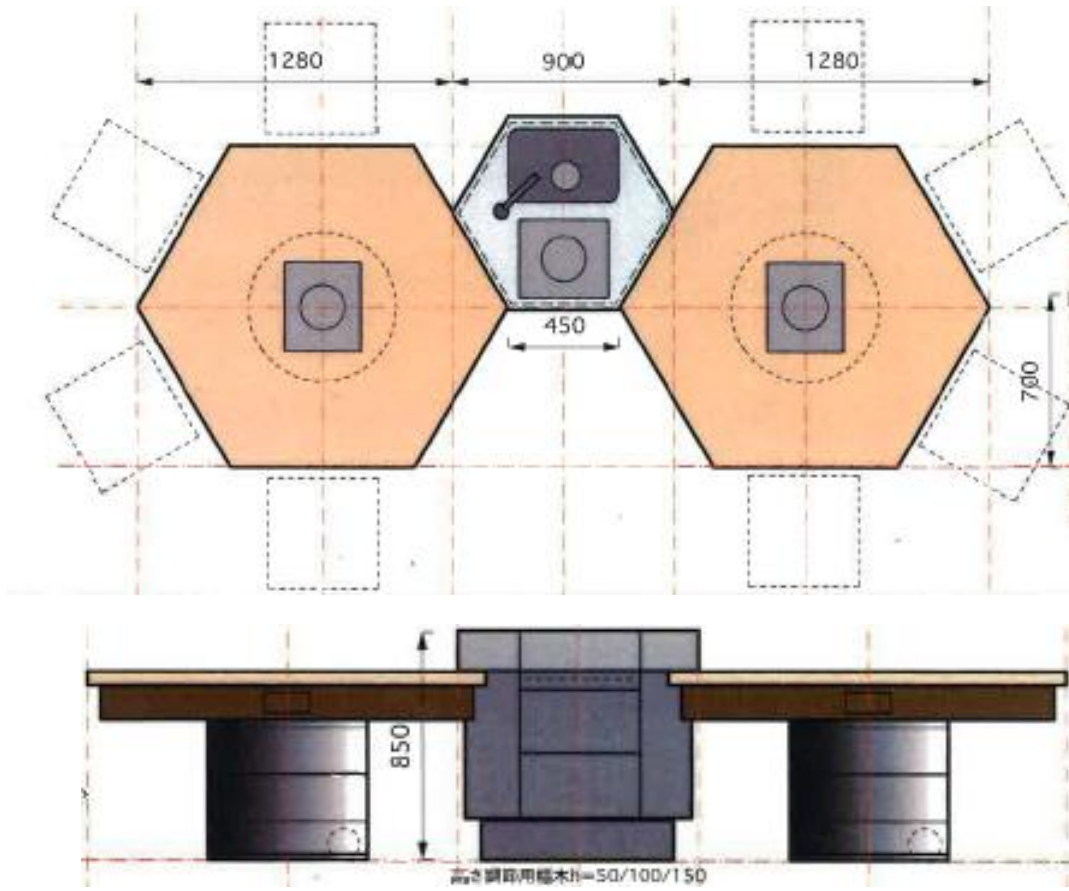


<仕様>

熱源：LP ガス、IH 利用 2タイプ

六角形の辺同士で連結型可能

ヘキサゴンキッチン設計図



ヘキサゴンキッチン利用の様子

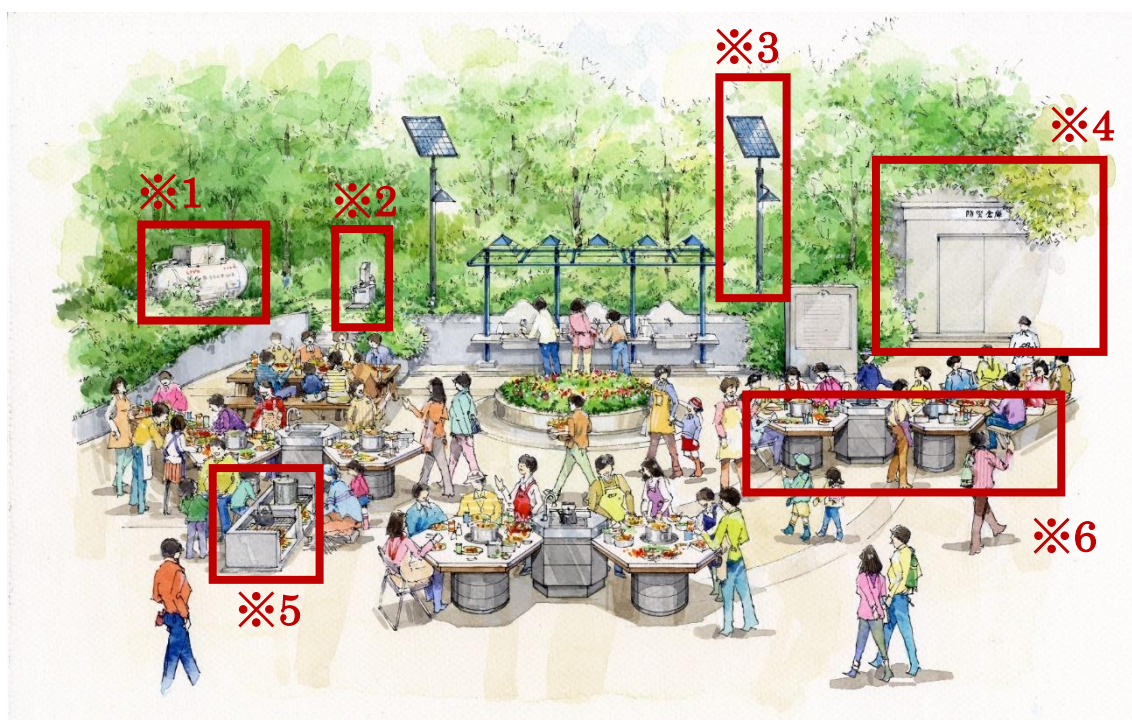


5-2 HOTNET キッチンの考える理想的な「公園キッチン」設備

災害時に有用な設備の使い方のレクチャー、料理を同時に行える HOTNET キッチンが考える理想的な「公園キッチン」の設備をご紹介します。

<「公園キッチン」イメージパース>

※1 LP ガスタンク／※2 揚水ポンプ／※3 太陽光パネル／※4 備蓄庫／※5 かまどベンチ／※6 六角テーブルヘキサゴンキッチン



6. まとめ

現在の公園では設備があっても緊急時の運用体制やマニュアルを備えるまでにいたっていません。また、日頃公園への親しみが災害時に避難地としての認識につながる事もわかりました。

HOTNET キッチンでは、災害時単に温かいものを食べるだけでなく、地域のコミュニティーで理解・協力しあい、食事を楽しめるという事がいかに被災者の心を癒すのかを理解いただき、平時から楽しみながら、設備の利用方法と、災害時に有用になる料理提案、地域コミュニティーの確立を目的に活動できればと思っております。